

長崎県美容専門学校 令和3年度 授業計画表

科目名	必須	選択	対象 学年	授業 時間数	講義	演習	実験・実習 ・実技	実務の 有無	担当教員名
関係法規・制度	○		1学年	33時間	○			有	河合 誠
到達目標				成績評価の方法・基準					
これから美容師になろうとする人のために必要な、				定期試験(95%) 授業態度(5%)					
衛生行政、保健所の機能及び役割、美容業に関係する									
美容師法を中心とした関連法規について理解する。									
使用教材・教具				参考文献					
教科書									
美容師法関係法令集									
授 業 計 画									
時間	授業方法	学修内容							
1	講義	社会生活における法の役割							
2	講義	法令の種類と特徴について							
3～5	講義	衛生法規の概観							
6～7	講義	衛生行政の意義と歴史							
8～9	講義	衛生行政の種類と衛生行政機関							
10	講義	美容師法の目的と構成							
11	講義	美容師法の運営にあたる行政機関							
12～13	講義	用語の定義							
14	講義	美容師養成施設について							
15	講義	美容師試験について							
16	講義	美容師の免許と登録について							
17～18	講義	美容師の法的義務について							
19～20	講義	業務停止、免許取消及び再免許について							
21～22	講義	管理美容師について							
23～24	講義	美容所の開設の手続きについて							
25	講義	届出事項の変更、地位の承継について							
26	講義	美容所の開設者が講ずべき衛生措置について							
27	講義	美容所以外での業務について							
28～29	講義	美容所への立入検査について							
30～31	講義	美容師法に違反した者に対する行政処分について							
32	講義	美容師法の罰則について							
33	講義	生活衛生関係営業の運営の適正化及び振興に関する法律について							

長崎県美容専門学校 令和3年度 授業計画表

科目名	必須	選択	対象学年	授業時間数	講義	演習	実験・実習・実技	実務の有無	担当教員名
衛生管理(公衆衛生・環境衛生)	○		1年生	33	○			有	加藤 やよい
到達目標				成績評価の方法・基準					
・公衆衛生とは、多くの人々との生命を守ることで、				小テスト(5%)					
健康にしていけるために衛生や環境など、美容師はどんなこと				定期試験(80%)					
を心がければよいかを理解する。				ノート提出(10%)					
・各単元で小テストを行い、理解度を確認する。				平常点(授業態度) 5%					
使用教材・教具				参考文献					
教科書・ノート									
P・Pで説明									
授 業 計 画									
時間	授業方法	学修内容							
3	講義	公衆衛生の意義と課題							
		欧米の公衆衛生の歩み				我が国の公衆衛生の歩み			
		消毒法の歴史							
3	講義	歴史の中の理容師・美容師と公衆衛生							
		理容師美容師と公衆衛生							
		1章 公衆衛生の概要について小テスト							
3	講義	保健所と理容業・美容業							
		地域保健法による保健所の事業							
		母子保健と統計							
3	講義	出生率の低下							
		母子・小児の健康管理							
		成人・高齢者保健							
3	講義	死亡率・年齢調整死亡率							
		生活習慣病とその対策							
		がん・心臓病・脳卒中							
3	講義	糖尿病・喫煙・アルコール							
		健康増進対策							
		健康日本21							
3	講義	介護保険制度							
		精神保健							
		2章 保健小テスト							
3	講義	環境衛生の概要							
		環境要因が人の健康に与える影							
		社会生活における環境の悪化防止							
3	講義	空気と健康、空気成分、							
		空気中に発生する有毒ガス							
		温度、湿度、気流と健康							
3	講義	1節 環境衛生の概要/2節 空気環境小テスト							
		衣類・住居の衛生、採光と照明							
		3節 衣服・住居の衛生小テスト							
3	講義	上下水道							
		廃棄物							
		衛生害虫とネズミ							
		環境保全							
		4節 上下水道/5節 説衛生害虫/6節 環境保全 小テスト							

長崎県美容専門学校 令和3年度 授業計画表

科目名	必須	選択	対象 学年	授業 時間数	講義	演習	実験・実習 ・実技	実務の 有無	担当教員名
衛生管理 3編 感染症	○		I	33	○			有	島田 幸長
到達目標				成績評価の方法・基準					
・なぜ感染症を勉強するのか目的を理解する				小テスト					
・感染症の予防方法を知る				定期試験(100%)					
・美容師にとって必要な感染症の知識を1つ1つ印象付けて覚える									
使用教材・教具				参考文献					
教科書									
資料(プリント)									
授 業 計 画									
時間	授業方法	学修内容							
1	講義	感染症発見の歴史・・・人と感染症と戦いどのような業績を残したか							
2～3	講義	感染症がどのように分類されているか、法律上の分類 法律による分類、身体への侵入・感染経路による分類、病原体別の分類							
4～6	グループ別で発表	法律上の分類と病原体別に覚える暗記の仕方							
7	小テスト	感染症の分類(法律、病原体別、感染経路)							
8～9	講義	病原微生物にはどのような種類があるか 病原微生物の形や大きさ、構造、特長など 病原微生物の生活現象について 病原微生物は環境の影響によりどうなるのか							
10～11	講義	感染症の予防・・・微生物の病原性、人体の感受性、遺伝について							
12～13	講義	汚染・感染・発病について							
14～15	講義	免疫と予防接種							
16～17	講義	感染症発生の3大要因・・・感染源・感染経路・宿主の感受性							
18～19	講義	感染症予防について・・・感染源に対する対策・感染経路に対する対策 人体に関する対策・個人予防対策							
20～22	講義	美容師の健康管理と感染症の基礎知識の重要性 主な感染症・・・空気・飛沫を介して感染する感染症 血液等を介して感染する感染症 動物・節足動物を介して感染する感染症							
23～24	講義	接客時の感染予防策・・・標準予防策 咳のある客への対応 病変の皮膚を持つ客への対応 嘔吐をした客への対応							
25～30	個人発表	まとめと復習							
30～33	小テスト	国家試験過去問題に挑戦							

長崎県美容専門学校 令和3年度 授業計画表

科目名	必須	選択	対象 学年	授業 時間数	講義	演習	実験・実習 ・実技	実務の 有無	担当教員名
香粧品化学	○		1学年	66時間	○			有	田下 美里
到達目標				成績評価の方法・基準					
美容器具や香粧品を合理的かつ安全に取り扱うためには、				定期試験（80％）					
化学の理論的知識が必要不可欠である。				レポート提出（10％）					
そこで、化学の基本原理を学ぶとともに、主な香粧品の種類				ノート提出（10％）					
使用目的・化学的性質・成分等を学び、これらを正しく使用									
できるよう正確な知識を身につける。									
使用教材・教具				参考文献					
教科書 ノート 練習プリント 小テスト									
授 業 計 画									
時間	授業方法	学修内容							
1～2	講義	香粧品概論 香粧品の定義 香粧品の規制 香粧品の取り扱い注意事項							
3～6	講義	物質の構成・構造 原子量と分子量							
7～9	講義	溶液と溶解度 コロイドの定義と種類							
10～13	講義	イオンとPH 酸塩基の定義と強弱 緩衝作用と緩衝液							
14～15	講義	物質の変化と化学反応 中和反応と塩							
16～17	講義	酸化還元の定義 酸化剤と還元剤							
18～20	講義	タンパク質の構造と性質 ケラチンの性質							
21～22	講義	人体各部（頭皮・皮膚・爪・まぶた・口唇）の性状							
23	講義	水性原料 有機溶媒・無機溶媒							
24～25	講義	油性原料 油脂 ロウ類 炭化水素							
26～28	講義	界面活性剤の基本的性質 界面活性剤の種類							
29	講義	天然高分子化合物 半合成高分子化合物 合成高分子化合物							
30～32	講義	色材 無機顔料 タール色素 パール顔料 天然色素							
33	講義	天然香料 合成香料 調合香料							
34～36	講義	防腐殺菌剤 酸化防止剤 保湿剤 紫外線吸収剤 収れん剤							
37	講義	合成樹脂 接着剤 塗料							
38～39	講義	皮膚清浄用香粧品 石鹸の種類と性質							
40	講義	化粧水の種類と機能性							
41～42	講義	クリーム乳液の皮膚への作用 クリーム乳液の種類と機能							
43	講義	シェービング用香粧品 化粧液 パウダー類 パック剤							
44～45	講義	ベースメイクアップ香粧品 おしろい類 ファンデーション類							
46～47	講義	ポイントメイクアップ香粧品 紅類 アイメイクアップ香粧品 マニキュア製品							
48～49	講義	シャンプー剤 ヘリンス剤 トリートメント剤							
50～52	講義	油性スタイリング剤 液状スタイリング剤 高分子スタイリング剤							
53～57	講義	パーマ剤の原理・分類 パーマ第一剤・第二剤の種類と性質							
58～62	講義	ヘアカラー製品の種類と染毛メカニズム 脱色剤 永久染毛剤							
63	講義	育毛剤							
64	講義	芳香製品 香水 オーデコロン							
65～66	講義	サンケア製品 美白用香粧品 制汗・防臭剤 ニキビ用香粧品							

長崎県美容専門学校 令和3年度 授業計画表

科目名	必須	選択	対象 学年	授業 時間数	講義	演習	実験・実習 ・実技	実務の 有無	担当教員名
美容理論1	○		1	99	○		○	有	諸隈・水谷
到達目標				成績評価の方法・基準					
技術を学ぶにあたっての理論的根拠を学び技術の習得				定期試験(100%)					
を容易にすること				ノート提出					
				小テスト					
使用教材・教具				参考文献					
美容技術理論Ⅰの教科書									
ノートその他必要に応じて指示する									
P・Pで説明									
授 業 計 画									
時間	授業方法	学修内容							
1～3	講義	序章 美容技術理論を学ぶにあたって							
		①美容理論と美容技術について							
		②美容技術における作業姿勢							
		③美容技術に必要な人体各部の名称							
		人体各部の名称・・・頭部、手指の名称(美容技術、理論に必要な基礎知識)							
4～5		人体各部の名称暗記 小テスト							
6～10	講義	第1章 美容用具							
		①美容技術と用具(道具・器具・機械、用具の取り扱い方)							
		②コーム(名称、選定法、手入れ法)							
		③ブラシ(種類、選定法、手入れ法)							
		④シザーズ(種類、名称、選定法、手入れ法)							
		⑤レザー(種類、名称、選定法、手入れ法)							
		⑥ヘアアイロン(名称、選定法、手入れ法)							
		⑦ヘアドライヤー(目的、種類、構造)							
		⑧ヘアスチーマー・遠赤外線機							
		その他の用具(ピン、クリップ、ロッド、ローラー)							
11～20	講義	第2章 シャンプーイング							
		①シャンプーイングの目的							
		②シャンプー剤の特徴							
		③シャンプーイングの際の注意事項①～⑩							
		④リンス、コンディショナー、トリートメントについて							
		⑥スカルプトリートメント技術の基本ムーブメント							
		⑦スカルプマッサージ技術の一例							
21～23	実習	⑦スカルプマッサージを相モデルで実践							
24～27		第3章 ヘアデザイン							
		美容とヘアデザイン							
28～30		第1, 2, 3章まとめ							
31～45	講義	第4章 ヘアカットイング							
		①ヘアカットイングとは							
		②シザーズとレザーの扱い方							
		③美容刃物							
		④ヘアカットイングの基礎理論							
		⑤ベーシックなカット技法 ①～④							
		⑥ベーシックカット展開図							
		⑨シザーズによるカット技法の種類							
		⑩シザーズによるカット技法(セニング、ポインティング、スライシング、クリッピング、トリミングカット)							
		⑪レザーによるカット技法(テーパー、セニング、ポインティング、スリザリングカット)							
		カットイングのまとめ							
		前期試験 (第1、2、3、4章)							

時間	授業方法	学修内容
46～60		第5章パーマネントウェービング
		①パーマネントウェーブの歴史と現在
		1. 毛髪の構造
		②1液と2液のはたらき ウェーブ形成の理論
		③パーマネントウェーブ用剤の分類、種類
		④パーマネントウェーブ用剤に関する注意事項
		⑤パーマネントウェーブの実際
		⑥パーマネントアラカルト(方向性、アレンジなど)
		⑦パーマネントウェービングのまとめ
		⑧パーマネントウェービングの小テスト
61～75		⑨パーマネントウェービング 国試対策問題
		第6章 ヘアセッティング
		①ヘアセッティングとは
		②ヘアカーリング(シェーピング、スライシング、ベース)
		③ヘアカーリング(ステムの角度、テンション、ループの大きさ、毛先)
		④ループとウェーブの関係
		⑤技法によるカールの種類
		⑥カールピニング
		⑦ピンカールを巻く順序
		⑧それぞれのカールの技術の一例
		⑨ヘアウェービング
		⑩スキップウェーブ
		⑪アイロンセッティング
		⑫アップスタイル
		⑬ウィッグとヘアピース
76～99		⑭ヘアセッティングの小テスト
		⑮ヘアセッティング 国試対策問題
		第7章 ヘアカラーリング
		①ヘアカラーリング概論
		②ヘアカラーのタイプ別特徴
		③染毛のメカニズム
		④色の基本
		⑤毛髪のアンダートーンとレベルについて
		⑥ヘアカラーリングの注意事項
		⑦パッチテスト
		⑧酸化染毛剤の技術プロセス
		⑨ヘアブリーチ
		⑩毛髪化学
		⑪染毛理論
		⑫ヘアカラーリングベーシック
		⑬塗布テクニック
		⑭トーンダウン、トーンアップ、カラーチェンジ
		⑮ヘアカラー基本プロセス(白髪染め)
		⑯ヘアカラー基本プロセス(おしゃれ染め)
		⑰ヘアカラーの実際
		第5章パーマネントウェービング、第6章ヘアセッティング、第7章ヘアカラーリングのまとめ
		後期試験 (第5、6、7章)

長崎県美容専門学校 令和3年度 授業計画表									
科目名	必須	選択	対象 学年	授業 時間数	講義	演習	実験・実習 ・実技	実務の 有無	担当教員名
WD(実技)	○		1年生	192			○	有	加藤・諸隈・水谷 永本・島田・水口
到達目標				成績評価の方法・基準					
国家試験に向けて、細かく展示をしながら、 理解してもらうようにする。				定期試験(100%) 課題提出					
タイムトライアルを繰り返し、20分以内で 国家試験合格レベルのWDを仕上げられるようにする。									
使用教材・教具				参考文献					
コードバン・クランプ・ロッドケース・ペーパー・ゴム(白)									
コーム・WDウィッグ・スプレーヤー・雑巾									
授 業 計 画									
時間	授業方法	学修内容							
1～6	講義	・道具の説明							
		・ブロッキングの取り方							
7～9	実技	・12ブロッキングの練習							
10～12	実技	・12ブロッキングの練習							
		・ブロッキング見極め(5分)							
		・上巻きの練習							
13～18	実技	1人ずつ巻き方をチェックする。							
19～21	実技	・合同WD							
22～27	実技	・下巻きの展示							
		・下巻きの練習							
28～39	実技	・フロント～右バックサイドと右サイドの展示							
		・フロント～右バックサイドと右サイドの練習							
40～48	実技	・左サイドまでの展示							
		・左サイドまでの展示							
49～65	実技	・全頭を20分で巻けるように練習							
66	実技	全頭20分テスト							
67～192	実技	・国家試験合格レベルの仕上がり出来るように練習							

長崎県美容専門学校 令和3年度 授業計画表

科目名	必須	選択	対象 学年	授業 時間数	講義	演習	実験・実習 ・実技	実務の 有無	担当教員名
カット(実技)	○		1年生	63	○		○	有	加藤・諸隈・水谷 永本・島田・水口
到達目標				成績評価の方法・基準					
立ち位置、姿勢、コームの使い方や シザーズの開閉など基本動作を身につけさせる。				定期試験(100%)					
・ワンレングス									
・グラデーション									
・レイヤー(国家試験課題)									
・セიმレングス									
マッシュルーム(メンズカット) ・刈り上げ									
使用教材・教具 ※(学)の道具は学校が準備しま				参考文献					
・コードバン ・雑巾 ・クランプ ・ウィッグ(学) ・スプレイヤー									
・シザーズ ・ダックカール ・ものさし ・ノート ・カットコーム									
授 業 計 画									
時間	授業方法	学修内容							
1～3	実技	・シザーの持ち方と開閉方法							
		・コームの持ち方とシェープの仕方							
		・ワンレングスのカット							
4～6	実技	・ワンレングスのブローとチェックカット							
7～9	実技	・ワンレングスのカット＆ブローのタイムトライ							
10～12	実技	・ワンレングスのカット＆ブローのテスト (80分)							
13～31	実技	・レイヤーカットの板書、手順説明							
		・レイヤーカットの手順を覚える							
	実技	・20分間でレイヤーカットを仕上げる							
	実技	・レイヤーカットのテスト (20分)							
31～49	実技	・グラデーションカットの説明、展示							
		・グラデーションカットの練習							
50～59	実技	・セიმレングスの説明、展示							
		・セიმレングスの練習、タイムトライ							
		・セიმレングスのテスト (20分)							
63		・マッシュルーム(メンズカット)からの刈り上げ							

長崎県美容専門学校 令和3年度 授業計画表

科目名	必須	選択	対象 学年	授業 時間数	講義	演習	実験・実習 ・実技	実務の 有無	担当教員名
シャンプー・スパ(実技)	○		1年生	153			○	有	水谷・水口 永本・島田
到達目標				成績評価の方法・基準					
サロンに入社して即戦力になる力をつける。				定期試験(バックとサイド両方行う。)(100%)					
使用教材・教具				参考文献					
・カテリーナブラシ ・ドライヤー ・シャンプー ・トリートメント									
・ノート ・筆記用具									
授 業 計 画									
時間	授業方法	学修内容							
1～90	相モデル	シャンプー台の使い方の説明、手順の板書							
		各種道具の保管場所の説明							
		出席番号の前半、後半に分かれてサイドシャンプー、バックシャンプーの手順の説明							
91～153	相モデル	マッサージの仕方の説明							
		シャンプーの手順の確認							
		頭皮用クレンジの仕方の説明							

長崎県美容専門学校 令和3年度 授業計画表

科目名	必須	選択	対象学年	授業時間数	講義	演習	実験・実習・実技	実務の有無	担当教員名
アレンジ(実技)	○		1年生	15			○	有	加藤・諸隈・水谷 永本・島田・水口
到達目標				成績評価の方法・基準					
正確な編み込みを身につける。				定期試験(100%)					
数種類のUPスタイルを創作する。				課題提出					
使用教材・教具				参考文献					
・コードバン ・クランプ ・スプレイヤー ・ダックカール									
・カテリーナブラシ ・リングコーム ・ノート ・筆記用具									
授 業 計 画									
時間	授業方法	学修内容							
1～3	講義	・オープンキャンパスの説明							
		・オープンキャンパスの説							
		・ローブ編み、片編み込みなどの練習							
4～9	実技	・ブローによる仕込み、ホットカーラーによる仕込み、スタイリング剤による仕込み							
10～12	実技	一束結び、フォワードスパイラル							
13～15	実技	バックコーミング、夜会巻き							

長崎県美容専門学校 令和3年度 授業計画表

科目名	必須	選択	対象 学年	授業 時間数	講義	演習	実験・実習 ・実技	実務の 有無	担当教員名
オールウェーブセッティング(実技)	○		1年生	192			○	有	加藤・諸隈・水谷 永本・島田・水口
到達目標				成績評価の方法・基準					
コームの持ち方、使い方を覚える。				定期試験(100%)					
構成を覚える。				課題提出					
ウェーブ、ピンカールの作り方とピンニングの									
仕方を覚える。									
使用教材・教具 ※(学)の道具は学校が準備します。				参考文献					
・コードバン ・雑巾 ・手拭き用タオル ・クランプ ・スプレイヤー									
・ウィッグ(学) ・リングコーム ・セットコーム ・アブリケーター									
・セットローション ・シングルピン ・ステンレスピン ・オニピン									
授 業 計 画									
時間	授業方法	学修内容							
1～3	講義	・セットコームの持ち方と動かし方の説明							
	実技	・ローションを塗布する仕方の説明							
		・左サイドに4段フィンガーウエーブを作る展示、練習							
4～9	実技	・左サイドに4段均一な幅のフィンガーウエーブを作れるようになる							
10～15	実技	・2～7段目の作り方の説明と展示							
		・4, 5, 6段目のブロッキングの説明、練習							
		・4, 5, 6段目のカールの作り方の説明、練習							
16～18	実技	・1段目の作り方の説明、練習							
19～24	実技	・1～7段目のタイムトライ							
		※ウェーブ幅と位置などは常に意識しながら行う							
25～32	実技	・全頭を30分以内で作れるように練習する。							
		※ウェーブ幅と位置などは常に意識しながら行う							
33～192	実技	・全頭を30分でテスト							

長崎県美容専門学校 令和3年度 授業計画表

科目名	必須	選択	対象 学年	授業 時間数	講義	演習	実験・実習 ・実技	実務の 有無	担当教員名
カラー(実技)	○		1年生	15	○		○	有	加藤・諸隈 永本・島田
到達目標				成績評価の方法・基準					
薬剤知識				課題提出(100%)					
ヘアカラー理論									
ヘアカラー塗布テクニック									
使用教材・教具 ※(学)の道具は学校が準備します。				参考文献					
・ウィッグ(学) ・はけ カップ ・トレーニングクリーム(学)									
・ダックカール									
授 業 計 画									
時間	授業方法	学修内容							
3	講義	・道具の配布、説明							
	実技	・4ブロッキングの取り方							
		・グレイカラーの説明							
		・グレイヘアリタッチの説明、展示							
		※ウィッグに対して行う							
3	実技	・おしゃれ染めのリタッチを説明、展示							
		※ウィッグに対して行う							
	実技	・ワンメイクの塗布の仕方を説明、展示							
		・均一に素早く塗布ができるように練習							
		※ウィッグに対して行う							
3	実技	・ツータッチの説明、展示							
		・均一に素早く塗布ができるように練習							
		※ウィッグに対して行う							
3	実技	・1組・2組で相モデルになりリタッチ塗布							
3	実技	・3人組を作り、1名がモデルで2名がリタッチ塗布							

長崎県美容専門学校 令和3年度 授業計画表

科目名	必須	選択	対象 学年	授業 時間数	講義	演習	実験・実習 ・実技	実務の 有無	担当教員名
メイクアップ	○		1	66	○		○	有	田口
到達目標				成績評価の方法・基準					
スキンケア、基本のメイクを学ぶ				定期試験(100%)					
道具の名称と使い方を修得する				課題提出					
検定取得									
使用教材・教具				参考文献					
準備するもの（※印は学校で準備）									
メイクBOX・タオル・めん棒・ティッシュ・ビニール袋									
※コットン・鏡									
授 業 計 画									
時間	授業方法	学修内容							
3	講義	道具の配布							
	実習	各道具の名称、使用方法の確認、道具の衛生							
		顔のプロポーション							
		色について							
		メイクアップ道具の基本的な配置							
4-6	実習	前回の内容を確認し、道具を基本的な配置に準備してもらう							
	講義	スキンケア概論・皮膚のタイプ							
	実習	立ち位置、クレンジング・化粧水・クリームの手順の解説							
		クレンジング・化粧水・クリームを相モデルで行う							
	講義	コントロールカラーと色別効果							
7-9		前回のおさらい							
	講義	ファンデーションの目的							
		ファンデーションの伸ばし方							
		ファンデーションテクニック							
		フェイスパウダーの目的と効果							
		フェイスカラーの目的と効果							
	実習	上記内容を相モデルで行う							
10-12	実習	前回のおさらい							
	講義	眉の基本バランス							
		眉カット・眉描きの展示							
	実習	上記内容を相モデルで行う							
	講義	まぶたの基本構図							
		アイシャドウの基本的なのせ方の展示							
13-15	実習	前回のおさらい							
	講義&実習	アイシャドウののせ方をもう一度展示し、相モデルで行う							
	講義	チークカラーの範囲と中心・種類							
		チークの展示							
	実習	上記内容を相モデルで行う							
16-18	実習	前回のおさらい							
	講義	リップの基本バランス・描き方の展示							
	実習	上記内容を相モデルで行う							
19-39	実習	全ての流れを相モデルで行い基本の流れを修得するし、検定習得を目指す							
40-42	検定								
43-66	実習	選択授業(ブライダル)							

長崎県美容専門学校 令和3年度 授業計画表

科目名	必須	選択	対象 学年	授業 時間数	講義	実習	担当教員名
ネイル	○		1学年	34時間	○	○	鶴本 玲子
到達目標				成績評価の方法・基準			
美容のプロになる為にネイルの基礎を学ぶ				実技試験の結果、評価表あり、70点以上合格			
講義と実技の受講後、ネイル協会I-NAIL-Aの				筆記試験の結果、I-NAIL-A試験結果で採点			
ネイルプロフェッショナル検定試験A級受験				出席日数、8割出席、評価対象			
イベント、オープンキャンパス用のネイル施術				追試あり			
				使用教材・教具			
				両面テープ、セロテープ、つまようじ、アルミホイル			
				ペーパータオル、タオル2枚、消毒液、カットパン、綿棒			
				ジッパー付袋B5サイズ3枚、A5サイズ1枚、ネイル教材一式			
授 業 計 画							
時間	授業方法		学修内容				
3H	実技		教材の説明、セッティング方法				
3H	講義、実技		講義(爪の成り立ち)、実技(デモ WETケア、シャイナー)				
3H	講義、実技		講義(衛生措置)、実技(デモ 塗り)				
3H	講義、実技		講義(マニキュアの科学、皮膚の基礎)、実技(左右3本づつ、ケア、塗り)				
3H	講義、実技		講義(爪の病気、感染と免疫)、実技(左右3本づつ、ケア、塗り)				
3H	講義、実技		講義(人体のしくみ、骨格系)、実技(ケア、塗り)				
3H	講義、実技		講義(筋系、循環器、神経系)、実技(ケア、塗り)				
3H	実技		実技(ケア、塗り)試験対策				
3H	実技試験		相モデルでの検定試験(前半・後半)				
3H	講義、実技		講義(筆記試験対策)、実技(DRYケア、イベント用ネイル)				
3H	講義、実技		講義(筆記試験対策)、実技(チップ作成)				
1H	筆記試験		筆記試験				

長崎県美容専門学校 令和3年度 授業計画表

科目名	必須	選択	対象 学年	授業 時間数	講義	演習	実験・実習 ・実技	実務の 有無	担当教員名
着付(総技)	○		1	17			○	有	加藤 やよい
到達目標				成績評価の方法・基準					
着物の基礎知識、作法、着物のたたみ方、 小物の準備の仕方、自分の着衣の整理 着物を自分で着る、人に着せることが出来る ようにする				定期試験(100%)					
使用教材・教具				参考文献					
＜学校側準備＞浴衣・訪問着・肌襦袢・長襦袢・半幅帯									
帯、小物一式・補正用タオル									
＜学生準備物＞浴衣の下に着るタンクトップ・短パン									
授 業 計 画									
時間	授業方法	学修内容							
1～3	浴衣実習	モデルの体型に合わせタオルで補整							
		自分でゆかたを着れ、相モデルでゆかたを着せる練習をする							
		小物の準備の仕方							
		着物のたたみ方							
4～13	訪問着実習	下着をつけ、モデルの体型に合わせタオルで補整後、長襦袢までの展示後練習							
		着物と小物の種類について説明する							
		訪問着の着付け展示後、相モデルで練習							
		相モデルでタオル補正から訪問着の着付けまで復習							
		帯の種類の説明と二重太鼓の結び方展示							
14～17	振袖実習	相モデルでタオル補正から帯結びまでの練習							
		下着をつけ、モデルの体型に合わせタオルで補整後、長襦袢までの展示後練習							
		着物と小物の種類について説明する							
		振袖の着付け展示後、相モデルで練習							
		相モデルでタオル補正から振袖の着付けまで復習							
		帯の種類の説明と飾り帯の結び方展示							
		相モデルでタオル補正から帯結びまでの練習							

長崎県美容専門学校 令和3年度 授業計画表

科目名	必須	選択	対象 学年	授業 時間数	講義	演習	実験・実習 ・実技	実務の 有無	担当教員名
まつ毛エクステンション(総技)	○		1	42	15	27	○	有	濱口・諸隈
到達目標				成績評価の方法・基準					
まつ毛エクステンションを行う際の衛生面、技術面 を学習し、検定試験に合格する				筆記試験(50%)、実技試験(50%)					
使用教材・教具				参考文献					
授 業 計 画									
時間	授業方法		学修内容						
1～15	講義		まつ毛エクステンション概論						
			まつ毛エクステンションの歴史や道具の使い方						
			病原微生物						
			道具を使用しながら注意点を学ぶ						
			消毒の種類						
			消毒の手順						
			消毒の重要性や施術時の消毒も学ぶ						
			施術前の手指消毒						
			器具類の消毒方法						
			目に関する知識						
			目の構造や皮膚のなりたち						
			まつ毛の構造、毛周期を学ぶ						
皮膚に関する知識									
まつ毛に関する知識									
カウンセリングシート作成、カウンセリングの目的									
カウンセリングの留意点									
まつ毛エクステンションのメリット、デメリット									
16～42	実技		道具のセッティング						
			手指消毒						
			ツイザーの使い方						
			エアブローアの使い方						
			装着の練習						
			リムービングの練習						
			左目20本装着						
			右目リムービング						
			テーピング練習						
			時間を計り検定通りに練習						
			筆記試験に向けての勉強						

長崎県美容専門学校 令和3年度 授業計画表

科目名	必須	選択	対象 学年	授業 時間数	講義	演習	実験・実習 ・実技	実務の 有無	担当教員名
芸術	○		1学年	36時間	○		○	有	中島 洋和
到達目標				成績評価の方法・基準					
芸術とは何か？を制作や鑑賞を通して理解していきます。				課題提出（100％）					
絵を制作する技術はもちろん 作品制作のプロセスや									
共同制作での作品制作など多岐にわたる表現方法を									
習得します									
使用教材・教具				参考文献					
鉛筆、クロッキーブック、水クレヨン、消しゴム、など									
スマートフォン・カメラ・パソコンなど									
授 業 計 画									
時間	授業方法	学修内容							
2	実技	オリエンテーション・自己紹介と実施する目的の説明と導入							
2	実技	線で表現してみよう							
2	実技	コラージュを体験します。							
2	鑑賞	人類の創成期から現代までのアートの大きな流れを説明します。							
4	鑑賞	美術館での鑑賞教育を実施します。							
2	実技	美術館でみた作品の髪型を再現してみよう							
2	実技	バックをカスタマイズしてみよう							
2	実技	テーマに合わせた髪型をデザインしよう！① 個人							
2	実技	テーマに合わせた髪型をデザインしよう！②個人							
2	実技	グループ制作①							
2	実技	グループ制作②							
2	実技	グループ制作③							
2	実技	グループ制作④							
3	実技	グループ制作⑤							
3	実技	グループ制作⑥							
2	発表・鑑賞	グループ制作の作品の発表と鑑賞							

長崎県美容専門学校 令和3年度 授業計画表

科目名	必須	選択	対象 学年	授業 時間数	講義	演習	実験・実習 ・実技	実務の 有無	担当教員名
接客	○		1	33	○		○	有	水谷・水口 永本・島田
到達目標				成績評価の方法・基準					
社会人になるうえで基本的な接客技術を身につける				定期試験 100%					
サロンにおける接客技術の向上									
使用教材・教具				参考文献					
接客基本講座テキスト									
筆記用具									
授 業 計 画									
時間	授業方法	学修内容							
1～6	講義・実習	・コミュニケーション、言葉遣いについて							
		・発声練習							
7～9	講義・実習	・サロンへの電話の仕方							
		・インターンシップ訪問先へ事前挨拶の連絡							
10～15	講義・実習	・接客用語と基本動作							
16～21	講義・実習	・インターンシップ期間中の諸注意							
		・インターンシップの準備							
18～21	講義・実習	・インターンシップの振り返り、お礼文記入							
22～27	講義・実習	・インターンシップ(第2回)期間中の諸注意							
		・インターンシップ(第2回)の準備							
28～33	講義・実習	・インターンシップ(第2回)の振り返り、お礼文記入							